■　(公社)兵庫県建築士会　加古川支部　■

平成 27 年　4 月

支　部　だ　よ　り

第63号

花のたよりが次々と聞かれるこの折、春の訪れを感じる季節になりました。淡路島においては、2000 年淡路花博「ジャパンフローラ」が開催されて 15 周年、又、阪神淡路大震災から 20 周年の節目に、花と緑のフェアー「淡路花博 2015」が 3 月 21 日～5 月 31 日までの期間、淡路島全土で催し物が始まっています。この機会に家族、知人等をお誘いの上、淡路島に足を伸ばしては如何でしょうか？

私たち建築士会加古川支部もお陰様をもちまして、半世紀の節目に 50 周年記念行事も終了して、最後の記念誌発行が最終段階の調整に入っております。これも会員他関係者方々のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。又、新しい年度に向って、総会の準備中でもありますが、多くの方々に出席をお願い致します。　（矢幡　稔）

第52回 加古川支部通常総会　のご案内

◇　平成 27 年度通常総会は、**4 月 25 日(土)　に**開催されます。

場　所：**兵庫県東播磨生活創造センター**（東播磨県民局）　Tel 079-421-1136
研修室（1 階）

総　会：18:00 より（受付 17:30～）

懇親会：19:00 頃より **加古川プラザホテル　ボールルーム**（会費 4,000 円）

※　返事は、同封のはがきに記入し、**平成 27 年 4 月 17 日(金)** までに必ず投函してください。

なお、出欠にかかわらず委任状は必ず返送して下さい。

新年会の報告

今年も恒例の、新春ボーリング大会及び新年会が、ニッケパークボール～「ながさわ」加古川店にて行われました。わたしは、新年会から参加させていただきました。ボーリング大会では、なかなかの白熱模様だったのか「ながさわ」への会場移動到着が、約 30 分遅れで新年会は始まりました。

建築士会の会ではチョコチョコ会う仲間、ここでしか会えない仲間、諸先輩方、後輩諸君、若者たちと、さまざまですが僕は、それが好きです。本年度は、建築士会創設 50 周年ということもあり、さまざまなイベント・研修が開催されたことを、永井支部長より御披露されました。そんな中で恒例のビンゴ大会で初めの方に当たっちゃい、こうして記事を書いています。（賞品は、セレブティシュでした。）毎回賞品も思考が凝らされ、○▲◎×・・とか、文章に書けない物もありました。皆さんも、次回奮ってご参加されては如何でしょう。　(斉藤和幸)

新春ボーリング大会の報告　初優勝

平成も早や 27 年。その 1 月 24 日(土)に恒例の新年会が開催されました。そして、新年会の前のボーリング大会。これもここ数年間続いています。今年の参加人数は 11 名でした。5 時 15 分受付、5 時 30 分スタートでした。

私のレーンは、島崎さん、増田さん、田中さん、私の 4 人でした。始めのうちはなかなか調子が出なかったのですが、徐々にピッチが上がってきて、第 2 ゲームはあわよくば 200 点に達するか、というくらいハイピッチのスコアでした。そして、やはり実力が出て１ピンを残すこと、3 度。スコアは 181 でした。第 1 ゲームのスコア 134 と合わせて、トータル 315 でなんとなんと優勝ということでした。結果良ければ全てよし、ということにしましょう。今年は常勝している秋田さんが欠席でしたので、鬼の居ぬ間の盗み勝ち、というところでしょうか。ともあれ、良い結果に終わり嬉しい一日となりました。参加者の皆様、お疲れ様でした。（宮宅 勇二）

『ヘンロ小屋プロジェクト』追体験イン香川見学会 の報告

今回は支部設立 50 周年記念事業として、「ヘンロ小屋プロジェクト」追体験イン香川見学会が計画されました。昨年の歌先生の「ヘンロ小屋プロジェクト講演会」に参加し、ぜひ見学会に参加したく思っていました。当日は天気も良好、集合までにまずは遍路を事前体験すべく自宅から宝殿駅までの約 2 ㎞を徒歩で出発しました。集合時間は朝早く 7 時。未だ星が出ている時間から家を出ました。見学会のﾊﾞｽは、山陽道、瀬戸大橋を渡り、多度津町の 77 番札所道隆寺へ予定通り 9 時 30 分ころに到着。道隆寺にお詣り後、ヘンロ小屋 18 号丸亀城乾休憩所へ約 3 ㎞を 1 時間かけ徒歩で巡礼を体験しました。冬真っ只中でしたが、土曜日だったのでお遍路さんにたくさんお会い出来るのかなと思っていましたが、それほどの人出でなくゆっくりとお詣り、休憩、見学が出来ました。

ヘンロ小屋 18 号丸亀城乾休憩所は、丸亀市の地場産業のうちわの骨をデザインしたものでした。その後、今回の四国見学での私の目的の一つである讃岐うどんを食しに！丸亀駅内の観光案内所一押しの石川うどんへ、本場讃岐のうどんを食べに行きました。讃岐うどんにしては若干柔らか目で、私には程よいかたさで美味しくいただきました。

昼食後次に丸亀駅前の猪熊弦一郎現代美術館へ。この美術館は全国でも類を見ない“駅前美術館”として、丸亀市ゆかりの画家・猪熊弦一郎の全面的な協力のもと開館とのことでした。しかし、展示物よりは「現在、世界で最も美しい美術館をつくる建築家と評される谷口吉生の作」の建物に目が行き、展示物は訳も分からずに終えました。

次に 79 番札所高照院（天皇寺）にお詣り、次の 1.5 ㎞先のヘンロ小屋 46 号ピポット坂出休憩所（足湯休憩）へ。ここは四国ガスのショールームの敷地内に建てられ、ガス給湯の足湯が造られていました。ほっこりと休憩。次に瀬戸内海歴史民俗資料館へ。竹田城を連想する石垣風の建物（日本建築学会賞受賞）で屋上から本州が間近に見え絶景でした。

今回は 4～5 ㎞を歩いただけで、お遍路さんの巡礼体験とはとても言えませんが、ヘンロ小屋を建てられた土地柄からも四国人の優しい、おもてなしの風土の一端が感じられました。

歩く距離が長く、少し疲れましたが、真冬の晴天にも恵まれ大変楽しい見学会でした。（上野 孝雄）

ええはなしやん　　第 42 回

念願の事務所を持つ事ができました。自宅兼事務所兼倉庫からの脱却です。思い返せば平成 12 年に独立してから、長女が生まれ、その後住宅ローン返済ギリギリの困窮時代もございました。しかし、その後少しずつお客様も増え、なんとか仕事も軌道に乗っていき次女、三女と子宝にも恵まれました。そして今では中学生から幼稚園までの 3 人の娘たち、妻、雌のトイプードル、そして私を含めて 5 人+ 1 匹の楽しい家族になりました。現役子育てど真ん中、充実した日々を過ごしております。私たちにとって子供たちの成長はたいへんうれしい事なのですが、徐々に家具や生活用品が増えていき、自宅で仕事を続けていく事がスペース的に難しい状態になりました。というわけで自宅と別に事務所を設ける事にしました。小さいながらも、事務スペース、打合せスペース、倉庫、軽作業場があります。新事務所の住所は　「東神吉町神吉 460 の 23 です。」

※ 駐車スペースもございますので、よろしかったら是非お立ち寄り下さい。

唐突ですが先頃こんな事がありました。

リフォームを検討中の御夫妻を、現在進行中のリフォーム現場に案内させていただいた時の話です。現場の前に車を駐車できなかったので、少し手前に車を止めて歩き出すと、「この辺りに約 50 年前、住んでいたよ。」と御主人がおっしゃいました。そして現場手前の家の表札、現場奥の家の表札を御覧になり、「50 年前に住んでいたのは、正に工事中の家が建っているこの場所だ！ ！ 」との事で、夢の中かと疑うほどみんなで驚きました。50 年も前に住んでおられた土地にたまたま案内してしまったのです。こんな偶然すぎる出来事を引き起こした私は、このお客様との強い御縁を感じました。　　（石野 秀昭）

建築士試験“監理員”募集

二級・木造建築士試験及び一級建築士試験の立会いは建築士会員がおこなっています。加古川支部にも毎年、数名の要請があり、事前に参加希望者を把握したいと思います。参加希望の方は連絡下さい。

※　連絡・申込書をご利用下さい。(先着順となります。締め切りは 5 月末)

E-メールで

新しい情報・大切な情報を送っています。

アドレスを事務局(永井支部長)に登録してください。

また登録された方で、情報メールが届いてない方は連絡してください。

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		
試験“監理員”参加希望	氏名	電話	

連絡票

住　　所 連　絡　先 E　-　mail	※　住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

＊　　個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

（社）兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒675-0017　加古川市野口町良野 418-17
間嶋建築設計事務所内
TEL 079-422-4130　FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com

QR コード→

■　(公社)兵庫県建築士会　加古川支部　■

平成 27 年　7 月

支　部　だ　よ　り

第64号

　此のたび、建築士会加古川支部の平成 27 年度総会におきまして、新支部長に承認され大役を仰せつかりました、矢幡でございます。昨年の 11 月には、永井前支部長のもと加古川支部設立 50 周年記念事業及び、式典が盛大に滞りなく終了され、50 周年の節目として、私達会員にとりましても諸先輩方のご尽力と功績に深く感謝し感慨深い記念の年でもありました。私も、この建築士会にお世話になり、28 年になりますが、この会で色々な立場の分野で活躍されている方々と知り合い、人間が生活していく上で欠かせない、居、食、住の中で住の分野に携われている事に誇を持ってまいりました。

　この会の目的でもあります「建築士としての品位の保持・その業務の進歩改善を図り、持って建築文化の発展と公共の福祉に寄与する」を念頭に置き、昨今の社会情勢や建築業界におかれる建築士の立場や責務も、大きく変化しており、環境の変化に切磋琢磨し、日々進歩改善を図り研鑽しております。その為にも、会員相互の**団結**と**親睦**を保ちながら、ますます進む高齢化による職人不足と若年層の建築に対する就職離れを少しでも減らす為にも、私達自らがこの建築業界の改善と、魅力を伝える為に活動して公共の福祉に寄与したいものです。

　現在、支部は、4 月 1 日時点で会員 122 名の方々の会費で運営しています。本部及び支部会員又は、他の団体からの情報を多く取り入れ、何かお役にたつものはないか、微力ですが皆様のお役に立つ様に勤めたいと思います。その際は、場合によっては不用な情報もあろうかと思いつつ、メールで発信しておりますが、全員のアドレスを把握するまでには至っておりません。旬な情報を早くお届けするにはメールが最速と考えておりますので、差し支えなければ事務局までアドレス情報をお送りください。

　最後に皆様方の活発なご意見や提案等をお待ちし、新役員を交えて打ち合わせしながら運営させていただきたいと思いますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。　　（支部長　矢幡 稔）

平成27年度第52回支部通常総会報告

　兵庫県建築士会加古川支部の第 52 回通常総会が 4 月 25 日 18 時より東播磨生活創造センター「かこむ」にて開催されました。（出席者 23 名、委任状 42 名）

　最初に、永井支部長よりあいさつがあり「本年度も会員の皆様には何かとお世話になり本当にありがとうございました。」とのお言葉をいただき、続いて平成 26 年度の事業報告のあと、役員改選で矢幡支部長が改選されました。続いて広報委員会に吉備委員長。厚生委員会に長尾委員長。研修委員会に坂上が着任しました。不慣れですが、建築士会会員の皆様が活動しやすい環境を整えるために頑張らせて頂きます。引き続き平成 27 年度の行事の計画案が示され了承されました。各責任者の説明に活発な意見が飛び交い説明者は大変だったことでしょう。皆様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の運営活動に役立たせていただきます。また、各種研修会、見学会が計画されますが、皆様のご意見をメール又は FAX 等でお寄せ下さい。心よりお待ちしております。

（研修委員長　坂上 浩司）

懇親会の報告

　懇親会は場所を加古川プラザホテルに移して開催されました（出席者 22 名）。会場の雰囲気は始終穏やかで、青年部によるビンゴゲームでは、恐ろしく安価な商品が飛び交い、今なお続く不景気に負ける気がしないと思えるほど、愉快で頼もしい笑顔が皆様の顔に溢れていました。矢幡新支部長を中心にこれからも公益社団法人として存在価値を高めようとする意志を、短い時間でしたが、お互いに確かめ合えたと思います。（副支部長　吉備 考司）

“納涼懇親会” のご案内

支部会員の交流と親睦と英気を高める納涼懇親会です。
今年もお店はバイキング形式で二時間食べ放題・飲み放題となっております。面白く、また貴重な情報が飛び交う空間となりますよう、奮ってご参加下さい。

日　時　平成 27 年 8 月 7 日（金）午後 6 時 30 分より 2 時間
　　なるべく時間までにお越し下さい。
場　所　「マナフーズ　ビレッジ」　ヤマトヤシキ 7 階
　　加古川駅前　　加古川市加古川町溝之口　Tel　（079）454-1888

参加費　　会　員　¥3,000.
　　非会員　¥3,800.

募集〆切　　平成 27 年 8 月 1 日(土)までに、別紙申込書により申し込みお願いいたします。
　　（当日の連絡先　　厚生委員会　　長尾携帯　090-9216-2695）

青 年 部 情 報（青年部会）

平成 27 年度の青年部会研修旅行の報告

青年部の 2 年に 1 度の研修旅行。今回は日帰りの研修旅行を企画しました。行き先は、昨年青年部の運営委員に参加してくれた八朔さんに提案いただき、奈良に決定しました。
私たちの頃は、小学校の修学旅行で行ったので、見た気になってますが、建築士となって、改めて研修することも意義あることだなと思いました。
ということで、今回は、八朔さんに記事をお願いしました。以下は、八朔さんの記事です。
（島崎 淳二）

6 月 28 日(日)に、兵庫県建築士会加古川支部青年部の研修旅行で奈良県にいって参りました。
今回は奈良の数ある建物の中から、東大寺と薬師寺を見学してきました。東大寺は奈良県奈良市雑司町にある、華厳宗大本山の寺院です。「奈良の大仏」として有名です。敷地のなかに金堂(大仏殿)、南大門ほか複数の建物があり非常に見ごたえのあるお寺です。薬師寺は奈良市西ノ京町に所在する寺院であり、法相宗の大本山です。東大寺とは違い建物が朱色で、華やかな建物でした。現在工事中の部分があり、一部の建物は見ることができませんでした。
私は初めて奈良に行きましたが、京都とは違い、奈良のお寺は質素な感じに見えましたが、重厚感があり、素晴らしい建物でした。また研修旅行でお寺等歴史のある建物を見学しにいきたいです。（八朔 一真）

ええはなっしゃん　　第43回

4年ぶりに支部長が変わりました。昨年は支部設立50周年の記念事業いっしょくで過ぎていってしまったように思われます。会員のみなさんのご理解、ご協力により、その一大イベントを行うことができました。ありがとうございました。しかし、私としては、別なところでなにかが抜けていたのではないかと感じております。4月の通常総会も終わり5月になると、待ってましたとばかりに旅行にでかけました。京都（特別拝観）、四国（別子マイントピア、しまなみ海道）、長野（善光寺）、富岡製糸場他へ。先日に「事務」や「ロッカー等」の引継ぎも終え、ほっとしているところです。

今は、新しい支部長さんをはじめ、あたらしい役員さんのもと、新しい事業が始まっていることを感じつつ「ええ話やん」。（永井　英三）

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		非会員 表記欄
納涼懇親会	氏名	電話	
	氏名	電話	

連絡票

住　　所 連　絡　先 E　-　mail	※　住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

＊ 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

（社）兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002　高砂市末広町 4 番 1 号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230　FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

■　(公社)兵庫県建築士会　加古川支部　■

支部だより

平成27年10月
第65号

秋冷の候、会員の皆様方に於かれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は加古川支部事業活動へ格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。秋晴れの晴天が続くよき季節となりましたが、朝晩の冷え込みは移りゆく季節を強く感じさせます。

さて我が加古川支部は矢幡新支部長のもとスタートし、早や半年近く経過しようとしています。９月１５日には、第２回理事会も開催され多数の理事参加の中、支部運営について意見が交わされました。公益法人となり事業の実施方法や申請及び報告手続きも紛雑となり事業担当者の負担も増していますが、何とか支部活動を活発にするためと頑張ってくれています。そんな中、研修委員会より見学会企画が提案され承認されました。内容も今までにない素晴らしい研修企画となっております。詳細につきましては後述のご案内を熟読いただき、是非ともご参加いただきたいと思います。見学会を通じ、共に建築士として見聞を広げ、また会員相互の懇親を深めていきたいと思います。終わりに寒暖の差が激しい折、ご健康にはくれぐれもお気を付けいただき、見学会でお会いできるのを楽しみにしております。

（副支部長　秋田克司）

（二級建築士設計製図講習会の様子）

『この秋からあなたに変化が！』
めったに行けない見学会のご案内

文化かおる芸術の秋、皆様におかれましては何かとお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。日頃は建築士会活動にご協力いただき誠に有難うございます。

早速ですが、この度、めったに行けない場所に、日頃、あくせくしながらの体をリフレッシュする見学会を、準備いたしました。歴史ある京都御所・周辺に京都御苑・京都迎賓館が建造されており、お昼には広場で美味しいお弁当でもつまんでみませんか？

皆さんと休憩しながらのディスカッションも楽しみです！お昼からは、場所を変え、新築の国立博物館へ。「都を彩る琳派」光悦、宗達、光琳、抱一、スーパースターの競演が実現します！
この機会に何とかご都合を付けていただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時　　：平成 27 年 11 月 1 日（日）
見学場所：京都御所・京都御苑
　　・京都国立博物館等
募集人員：20 名（定員になり次第閉め切ります）
　　一般の方も大歓迎
参加費　：会員（会員家族・他支部会員含む）3,000 円
　　：非会員 3,500 円
＊参加費には昼食、加古川駅からの往復交通費、特別展観覧料が含まれています。
＊　キャンセル料：1,000 円　ただし、開催日の３日前（10/29）までは無料
受付期間：10 月 20 日（火）17 時まで
集合　　：加古川駅改札前に 8 時
交通機関：JR 西日本にて京都まで
解　　散：加古川駅に 17 時 30 分到着予定
行程は士会ホームページを参照してください。
＊当日の連絡先：研修委員会　坂上
電　話：090-8750－９０５５
メールアドレス：mpcpm150@yahoo.co.jp

別紙参加申込書で申し込んでください。
皆様のご連絡を楽しみにお待ちしております。

納涼懇親会に参加して

毎年、加古川駅前の屋上ビヤガーデンで暑さといつ降ってくるかわからないスコール・いなびかりと対決しての、納涼大会でしたが、今回は屋内での開催と平穏な納涼会で進行しました。（「マナフーズビレッジ」ヤマトヤシキ7F参加19名）仕事だけでは無く、皆様のポリシー等を含め波乱にとんだ意見交換が繰り広げられ、仕事での苦労話、家庭での困り事等、一つひとつについて「へーそうかいな、大変やなー」などとあいずちを打ちながら、「ほんなら、こないしたらええで！」などと人生経験豊かな先輩が教えてくださり、頼もしい限りでした。建設関係に携わる同じ釜の飯を食う皆さんで、この播州の地を日本中から「アッ」と言わせる建物でも造ってみたいな！などと、ほろ酔いの本音トークがさく裂し、「ほんまやな！」と納得しました。

加古川の地は一級河川としての川、日本で一番分水嶺が低く、平たい水面が要求されるレガッタ競技も開催されております。また、自然に囲まれ、災害が少ない温暖で温和なのんびりした環境でのびのびと子供も大人も育ちはぐくまれております。　そこで、「日本で一番な物？」を世に踊り出すには、子供たちの教育から改める必要があります。震災で一番に行動を起こしたのは小学校の生徒だそうです。日頃から、教えられたことを素直に実行できる！子供の頃には「でっかい夢」があったはずです。それが、何か考え行動を起こすと、親からこつかれ、「そんなことしたらあかん！」の一喝で、夢がしおれて頓挫です。如何でしょうか。我々に、今できる
何か持続可能なものを、一緒に考えてみませんか？

現在、建設業界で始まったインターンシップも平成２年（1990年）から継続され、現在も各企業が受け入れし、プロの職方さんが子、孫代の方たちに懇切丁寧に指導されています。今後も懇親会など開催の折に、これらの貴重なご意見が出るのが楽しみです。

（K．S）

青年部情報　（青年部会）

二級建築士設計製図講習会

今年も７月～9月約２ヶ月間二級製図講習会を開催しました。毎年個性豊かな受講生と出会います。今年はこんな人が来ました。開講して一月余り、授業中に携帯が鳴り響いた。

「もしもし初めまして、私Nと申します。兵庫県士会の松本さんでしょうか？」

「はい,そうですが…」

「今年は講習の締め切りは終わったのですか？」

「一応は終わってるけど」

「はぁ…っ。そうですか…やっぱりダメか」

「なんや？エライため息ついて！机の空きやったらあるで！来るンやったら面倒見るで！」

「ホッほんとっすか？！」

「おぅ！ホンマやで,何処から来るん？」

「東京ッス！」

「えっ！マジ？！」

「ホントに教えてくれるんですか？」

「おう！土建屋に二言はない！来い！」

「ハイ！なんとか仕事の段取りつけてそちらに行きます。よろしくお願いします。」

お盆休みが重なりなかなか便が取れず、休み前倒しで8/11に此方に着いた。

その日から11、12日はPM8時～AM2時

8/13、14、15は、AM9時～AM2時迄 一式図を楽に三時間で書けるようになってくれた。休憩の時間には、今考えていることや将来の夢とか色々な話をした。そして 新しい ご縁になった。後から人伝に聞いた話だが、彼は30人ほどの社員を抱える不動産会社の社長さん(34歳)どおりで熱いはずや！

追伸

この講習会のウリは

“ダレでも書けるようにする”のと

“マンtoマンの添削”。

H21年からは阪口君、そして今年は東田君が新たに加わり密度の濃い指導をしてくれました。受講生達は本当に喜んでいます。私は若い二人の活躍を見ていて、彼らの居場所があって良かったと思いました。

最後になりましたが、法規面で色々とアドバイスや御指導を頂いた当支部会員でもいらっしゃる吉成設計事務所(吉成五郎所長様)の所員、中野様には此の場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

（松本　有司）

加古川楽市出展

９月の12日13日で、加古川商工会議所主催の「加古川楽市」に青年部で出展しました。

テントブースにて普段の活動をパネルにしたものを展示し、子供たちには金魚すくいとヨーヨーすくいを楽しんでもらいました。

天候を心配していましたが、二日間快晴で多くの方に来ていただきました。私は裏方でヨーヨーを作っていたのですが、前日の夜に用意していたものも初日でなくなり、結構忙しかったです。青年部の先輩方のお子さんたちがたくさん来られていて、楽しみながらお手伝いしてくれましたので、大変助かりました。

大変盛況でしたので、一般の方やほかの出展者の方に、建築士会の存在や活動を知っていただけたのではないかと思っております。

最後に、矢幡支部長はじめ、宮宅顧問、また別ブースで出展されていた三宅さんや運営スタッフをされていた鵜鷹さんなど、会員の方々が「頑張ってるか～」と来ていただけたことがとっても嬉しかったです。ありがとうございました。

（東田洋一）

新入会員の挨拶

はじめまして、田村真一建築事務所の田村真一と申します。今年より建築士会（加古川支部）に入会させていただきました。
加古川と大阪にて活動しておりましたが、今年より加古川に拠点を移し、活動していくことになりました。
これまで住宅の耐震改修から公共建築まで設計として関わってきました。
これからは、出身地である加古川の地域に貢献出来る活動が出来ればと思っております。
今後共よろしくお願い致します。

（田村真一）

ええはなしやん　第44回

十年一昔

十年一昔と言いますが、この年になると10年があっという間に過ぎていきます。
一昨年（2013年）５月、久しぶりに受けた検査で大腸癌が判り手術をしました。幸い経過は順調でほぼ以前の状態に戻り、仕事に対する意欲も戻ってきたように思います。これをきっかけに、自分はあと10年ぐらい、父親と祖父が生きた７５歳くらいの寿命まで生きるのだろうかと漠然と考えながら、これまでの10年余りを振り返ることが多くなりました。

この10年はお陰様で充実した時間を過ごせたように思います。仕事では古民家再生や一連の医院建築の設計、鶴林寺の宝物館の設計など遣り甲斐のある多くの建物に関わらせて頂き、クライアント、施工者、ブレーン、所員等、関係する皆様のお力添えと、家族の支えでやってこられたと感謝しています。幸い本年、鶴林寺宝物館が栄誉ある加古川市景観まちづくり賞を頂くことになり本当に感謝しています。

（鶴林寺宝物館の写真）

仕事以外では2007年に宮宅さんから引き継ぎを受け４年間務めさせて頂いた兵庫県建築士会加古川支部の支部長での活動が大きなウェイト占めています。会員の皆さんには物足らない支部長だったかもしれませんが、私の方は充実した生活をさせて頂いた貴重な期間だったように思います。総会、懇親会、旅行、見学会、勉強会、ブロック事業等々、気の置けない皆さんと本当に楽しく過ごさせて頂きました。

最後に老婆心ながら付け加えますが、健康診断は定期的に受けたほうがよいようです。平均寿命が延びるに伴い、日本人の約半数は癌になり、死亡者の三分の一は癌が原因とのことです。大腸癌について言えば終戦前後まで日本人は食物繊維を多く摂っていたので欧米人に比べ腸が約１ｍ長く、近年肉食を盛んにするようになったことにより長寿になった反面、大腸癌が増えているとのこと。大腸癌の検査は便の潜血反応でほとんど解るようで、検査費用は知れています。会社に勤務している人は定期検診の機会も多いと思いますが、自営で仕事をしている人はぜひ忘れずに検診を受けてください。

早く見つかれば治療は簡単なようです。

（古田　充）

この連絡・参加申込書はFAXかE-メールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名（連絡先電話）		非会員 表記欄
『この秋からあなたに変化が！』 めったに行けない見学会	氏名	電話	
	氏名	電話	

連絡票

住　　所 連　絡　先 E　－　mail	※　住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

＊　個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002　高砂市末広町4番1号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230　FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

■ (公社)兵庫県建築士会　加古川支部 ■

支部だより

平成28年1月
第66号

新年明けましておめでとうございます。

本年も会員のみなさまにとりまして、輝かしい年でありますようにお祈り致します。

昨年は杭データの改ざん事件がとりざたされ、10 年前の構造計算改ざん事件以来、一部の不正が我々建築業務全体を、消費者から不安を抱かれるように大きく報道されました。そんな中、高齢化・少子化対策として、団塊世代の起用の延長、愛称を「けんせつ小町」となづけ女性が活躍する技術者・技能者を、倍増させる報道もありました。

年末には、2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックの主会場となる新国立競技場の計画案が振り出しに戻り、国内の建築家及び業者で決定し、業界も注目を集めました。

私達、加古川支部も会員減少の中、27 年度は２名の会員の入会があり喜ばしい事です。

公益法人になって今年４月で、３年がすぎようとしています。社会のみなさまに建築士会をますますの理解が増します様に、会員が結束して連携を深めていく必要があると思います

１月の終わりには新年会及びボーリング大会、２月にはガラスの研修会等も開催します。多くの御参加を期待し、会員の皆様のご協力の程をお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

（支部長　矢幡　稔）

「新年会＆新春ボーリング大会」のお知らせ

厚生委員会

日　時　：平成 28 年 1 月 30 日（土）
17：15 より　受付
17：30　ゲーム開始
19：00　開宴（参加者集合次第）
表彰　ボーリング大会優勝者
参加者全員に豪華賞品あり
宴会余興　ビンゴゲーム
これまた豪華景品多数

会　場　：　「ニッケパークボウル」
加古川市加古川町寺家町 269-1
tel　(079) 427-8900
新年会　「ながさわ　加古川店」
（ニッケパークボウル東隣）
tel (079) 456-7775

参加費　：新春ボーリング大会
1,000 円（2 ゲーム貸し靴代含む）
新年会　3,000 円
（非会員は実費となります）

皆様のお越しをお待ちしております。奮ってご参加くださいますようお願いします。

当日連絡先　長尾 淳一　090-9216-2695

平成 28 年 1 月 25 日(月)までに
別紙参加申込書により申込みお願いします。

青年部会員による木工教室の様子
（フォルザ・若い夢フェスティバルにて）

京都見学会に参加して

２週間以上続く好天にそろそろ雨が無いと見学会の天気が心配になると思っていたところ、11 月１日の予定日だけ雨マークの週間予報が発表され、その前後はまた晴れマーク、これは一体どうしたことだ、大変な当たり日を引いてしまった。いまさら日程変更もできず、少しでも天気が良い方向に向かうことを願いながら、その日を迎えました。幸い天気の崩れが１日遅れたようで、好天の見学会になりました。

見学会には、会員とその家族外合わせて 18 名の方が参加されました。秋の行楽シーズンの日曜日ということもあってか、京都駅は人で溢れ、

京都はいつ来ても人が多く、目的地の京都御所まで全員、はぐれずに行けるだろうか少し不安も感じていましたが、さすがにみんな立派な大人、ちゃんと団体行動を心得ておられ、少しの滞りもなく、予定の京都御所、京都国立博物館を見学することができました。

京都御所には初めて入りました。千数百年前から常に日本の歴史の舞台であったところで、以前から一度は訪ねてみたいと思っていたところです。

丸太町通から建礼門に向う大通りは砂利が敷かれ、伊勢神宮や出雲大社とよく似た雰囲気を感じながら進みました。西側に蛤御門の案内板を見つけ、幕末の志士や長州、会津、薩摩、新撰組などが活躍した歴史の現場に今、自分がおり、案外小さな蛤御門を見て、ここで禁門の変があり長州と会津、薩摩合わせて数千の兵が争ったのかと意外な気もしました。

入口の宜秋門から御所に入り、順路に従って見学、建物を眺めてみると、御所の建築はとても質素と言うか、簡素、装飾がほとんどないことに気づきました。桧皮葺の大屋根、木地のままの柱や梁、板戸には花鳥画が描かれていますが、全体として清涼感のある建物でした。武家建築や寺院が装飾し、武威や権威を誇示するのとは違う何か、日本文化の有り様、権力の源泉の違いのようなものを、うまく表現できませんが神と同視されるような信仰に近いものが御所にはあるのではないか、少し大げさですが漠然と感じて御所を出ました。

次に訪れた国立京都博物館は谷口吉生の設計で、こちらも見てみたいと思っていた建築です。今回はそれに加えて、琳派美術の特別展を観ることができました。

入館待ち時間、2時間の案内にもめげず行列に並び、行列から谷口吉生建築を見学しました。偶然か、こちらも装飾のない大空間を創り上げています。

お目当ての風神雷神図の展示室では、オリジナルの俵屋宗達、模写の尾形光琳、酒井抱一を同時に見比べ、最初は優劣を感じようと凝視していたのですが、同じ題材を３人の天才が描いたものであると感じることができました。

最後に、京都見学会を企画、お世話していただいた研修委員会の皆さま、ありがとうございました。　　（小西　敏文）

平成27年度　ガラス研修会
『衣食住と共にガラスに進化が！』

この度、公益社団法人兵庫県建築士会加古川支部では、衣食住の環境に新たな発想で、これまでにないガラスの使い方などを追求した新たなガラス文化創出の姿をご紹介いたします。

これまであまり変化が加えられなかった分野に焦点を当て、可能性を秘めたガラス製品によるこれからの建築のみならず、住空間すべてに対応可能な資料も（各種サンプル・模型・カタログ等）用意しました。会員の方は勿論、あらゆる分野の皆様方のご参加をお待ちしております。

記

１．開催日時；平成28年２月18日（木）
　　18時30分開会
　　（開催時間；１時間30分程の予定）
２．開催場所；尾上公民館　１階講義室
　　（加古川市尾上町池田1804-1）
３．内　　容；ガラス新素材等の講演
　①　新たなガラス製品のご紹介
　　ガラスエリアをサイネージスペース、新たな情報媒体ツールとして活用
　②　環境・人にやさしいガラス製品のご提案省エネ・快適性・防犯・防災、様々なニーズに適したガラスの選択。
　③　ガラスによるデザイン空間のご提案
　　ガラス独特の色調美（色彩・光沢）を活用した拘りのデザインに対応
　④　質疑応答等
４．講　　師；岡田　章　氏
　　AGCグラスプロダクツ株式会社
５．募集人員；30名
　（定員になり次第、募集を終了いたします）
６．参　加　費：５００円
７．参加申込み：別添の参加申込書により、H28年２月12日までにお申し込みください。

※　お問合せ等連絡先；
研修委員会　坂上まで
電　話；090-8750-9055
FAX　；079-456-2409
メールアドレス；mpcpm150@yahoo.co.jp
皆様のご連絡を楽しみにお待ちしております。

「舞子公園建物探訪と明石大橋ブリッジワールドツアー」に参加して

『舞子公園内の国の登録有形文化財の「旧武藤山治邸」と重要文化財である「移情閣」を見学し、建築が育む歴史と景観及びこれを支える技術を学ぶとともに、世界最長のつり橋の主塔（海抜298.3m）に上り、大規模土木構造物の内部を窺い、その技術力を体感することができます』という主旨説明の中の特に『主塔に登り』に魅かれて、平成27年11月25日(水)の平日にも関わらず、（公社）兵庫県建築士会東播ブロック事業「舞子公園建物探訪と明石大橋ブリッジワールドツアー」に参加しました。

10時、お茶を配っていただいて、いざ出発！初めに旧武藤山治邸見学。移築復元工事を施工した㈱中島工務店鷲見関西統括支店長や南保設計管理室長に説明して頂きました。ただ見学しに行っただけではわからない、構造や納まりなど写真だけで図面もない中での復元の大変さや公共工事であるが故の入札による落札で予算との整合性など大変な工事であったことが良くわかりました。漆喰工事が大変素晴らしい建物で、左官工事を担当した親方（社長）からもご苦労された点などをお聴きし、下地も含め大変勉強になりました。

次に孫文記念館移情閣へ。同じく㈱中島工務店様による説明がありました。後世に残る文化遺産であるにも関わらず、ベランダの腰板が図面では檜の無垢材であると明記されていたのにベニヤ板であった事実など、施工者として恥ずべきことで予算の都合もあったかもしれませんが、そうならないように肝に銘じました。

お昼はＴＩＯ舞子7階の海彩園でした。美味しい食事で有り難く頂きました。

さぁ、いよいよ楽しみにしていたブリッジワールドツアー。「主塔に登れるぞ！」・・・・と思いきや、エレベーターの故障とかで「お登り」はなし！このために平日だけど自分では行けないから楽しみにしてたのに・・・とは思いましたが、がっかりした顔は見せず、そのまま続行。橋の科学館にて受付し、ガイダンスの映像を見て、実際に工事管理された方から説明を受けながら橋の主塔下まで歩きました。

建築関係ということで当時の苦労話や専門用語での説明と一般とは違うツアーになり、その点は満足した次第です。

橋の科学館に戻り、参加日と名前の下には、『あなたは「明石海峡大橋ブリッジワールド」に参加され海上300mの主塔塔頂にのぼられたことを認定します。あなたは、H27-10296 人目の参加者です。』という明石海峡大橋ブリッジワールド認定証を頂きました・・・。

（髙橋　賢吉）

青年部情報　（青年部会）

フォルザ・若い夢フェスティバルで木工教室開催

昨年11月29日に開催されたフォルザ・若い夢フェスティバルで今回も木工教室を行いました。前回も書かせていただきましたが、加古川市青少年団体連絡協議会に所属していた団体「かこがわ冒険団」のﾌﾟﾚｰﾊﾟｰｸ活動に協力していたことが縁で、お誘いいただき、以来、毎年出展しております。恒例の行事となりつつあり、参加者の方にも「前回も来たよ」と言ってくれる子どもたちもいました。嬉しい限りです。建築材の端材を使っての木工教室ですが、今回は、古田顧問から材の提

供があり、沢山の材料で子供たちに楽しんでいただきました。紙面上ではございますが、お礼申し上げます。ありがとうございました。

毎年大変好評をいただいており、いくらかは子どもたちにモノづくりの楽しさをお伝えできているのではないかと自負しています。建築士会の活動もパネルで PR しているのですが、今後はもっともっと知ってもらえるような工夫もしてゆきたいと思います。

また、この事業のあと、打ち上げも兼ねて青年部主催の忘年会を開催しました。県の青年委員会のメンバーにも何名か参加いただき、この年の慰労をし、親睦を深めた楽しい忘年会になりました。

（島崎　淳二）

ええはなしやん　第45回

初めて建築士会の見学会に参加させていただきました。

今回は電車と地下鉄等、交通機関での移動でした。前予報では前日の雨が残り大変かなと覚悟を決めていましたが、何のその、最高の小春日和でさわやかなハイキング日和でした。御所内部も順調に拝観が出来、歴代皇族の生活ぶりを思い浮かべることが出来ました。荘厳な神殿等、時代毎の勇壮な造りを勉強させて頂きました。歩いても、歩いても到着しない、それも砂利道をお昼の弁当を食べようと必死に休憩場にたどり着いたせいか、とてもおいしい弁当でした。お昼からは移動の途中、新島旧邸を発見。急きょ、プチ見学で同志社大学の創始者である和に洋風建築を取り入れたモダンな和風建築でした。さて、国立博物館の表まで人人人、何と９０分待ちと？？？入場券を買うべきか？皆さんにお伺いすると、ここまで来たのに、行こう！の一言。大きな考える人、ロダンの前で、ハイポーズ。展示は「琳派京を彩る！」その物でしたが、近代建築らしいだだっ広い造りの新館、旧館は明治時代からの伝統の建築様式。東奥にはひっそりと茶室「勘庵」が控えており、日本の建築文化における歴史を魅せられました。私たちも自信を持ち、今できる建築文化を発信していきます。今回参加された皆様、筋肉痛で仕事は大丈夫でしたでしょうか？それ以上の収穫が眠っていたように思います。また、見学会ツアーに連れて行ってください。

(C.S)

この連絡・参加申込書はFAXかE-メールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名（連絡先電話）		非会員 表記欄
新年会&新春 ボーリング大会	氏名	電話	
平成27年度 ガラス研修会 『衣食住と共にガラスに進化が！』	氏名	電話	

連絡票

住　　所 連 絡 先 E－ mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

＊ 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002 高砂市末広町4番1号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp